

★ 京混 '03 京都混声合唱団定期演奏会

～祈りの夕べ～

2003年9月14日(日) 開場 16:30 / 開演 17:00

京都コンサートホール 小ホール(アンサンブルホールムラタ)

主 催 京都混声合唱団

後 援 京都市・(財)京都市芸術文化協会・京都府合唱連盟

## ご挨拶

ようやく秋の気配が感じられる今宵、私共の定期演奏会に御来場いただきまして誠に有り難うございます。

本日は「祈りの夕べ」と題しまして、石川啄木の短歌集、モーツァルトの晩祷、デュリュフレのレクイエムを演奏いたします。京都混声合唱団は創立以来、数多くの宗教音楽を皆様のもとにお届けしてまいりました。聖パウロは、キリストの再臨を待ち望みながらひとつに集まる信者は、共に詩編、賛歌、霊歌を歌うようにと勧め、聖アウグスティヌスは「よく歌う人は、二度祈ることになる」と、典礼で歌を用いることを勧めています。「祈り」というテーマが宗教を越え、言語を越えて皆様の心にお伝えできれば幸いです。

私共は皆様の忌憚のないご批評を支えといたし、今後も一層の精進を続ける所存でございます。どうぞ変わらぬご支援を賜りますよう切にお願い申し上げます。

平成15年9月14日

京都混声合唱団



## プログラム

### 京都混声合唱団定期演奏会 ～祈りの夕べ～

#### 第一部 高田三郎合唱曲集より 啄木短歌集

やわらかに  
頬につとう  
いのちなき  
病のごと  
不來方の  
ふるさとを  
はずれまで  
あめつちに

朗 読 蔵田 裕行

#### 第二部 W.A.モーツァルト作曲 ヴェスペレ ハ長調 K.339

Dixit	主は言われた (詩篇 110)
Confitebor	わたしは、心を尽くして主に感謝する (詩篇 111)
Beatus vir	主を畏れる正しい人は、幸い (詩篇 112)
Laudate pueri	主のしもべらよ、主を賛美せよ (詩篇 113)
Laudate Dominum	すべての国よ、主を賛美せよ (詩篇 117)
Magnificat	わが魂は主を崇め (ルカによる福音書 1:46~55)

ソプラノ	蔵田みどり	アルト	加藤 苑絵
テノール	竹内 直紀	バス	石原 祐介

— 〇 — 休 憩 — 〇 —

#### 第三部 M.デュリュフレ作曲 レクイエム

Introit	入祭唱
Kyrie	キリエ
Domine Jesu Christe	奉納唱
Sanctus	感謝の賛歌
Pie Jesu	慈悲深き主よ
Agnus Dei	神の子羊
Lux aeterna	永遠の光
Libera me	怒りの日
In Pardisum	天国に

メゾソプラノ	竹林 美子	バリトン	大谷 圭介
オルガン*	三森 尚子		

指 揮 蔵田 裕行

ピアノ 宮北 昌子  
合唱 京都混声合唱団

## プロフィール

### 蔵田 裕行(くらた ひろゆき) 常任指揮者

京都市立音楽短期大学卒業。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。

東京藝術大学大学院音楽研究科独唱専攻修了。

オーストリア政府給費留学生としてウィーンに留学。

ウィーン国立音楽大学オペラ科、リート・オラトリオ科主席卒業。

在欧中、ウィーンアカデミー室内合唱団員として活躍したほか、1976年ウィーン音楽祭、オーストリア初演ハイドン作曲「オルフェオとエウリディーチェ」にてソリストとしてジョン・サザーランド、ニコライ・ゲッダと共演。帰国後はリサイタル、オペラ、オラトリオと多方面にわたって活躍するほか、33年間に亘る京都市立芸術大学での教育活動により数多くの優秀な人材を育成した。

1987年「藤堂音楽褒章」 2001年「京都市文化功労者」。

同志社女子大学嘱託講師。京都市立芸術大学名誉教授。関西二期会常

任理事。日本シューベルト協会常任理事。NHK京都文化センター講師。京都混声合唱団常任指揮者。



### 宮北 昌子(みやきた しょうこ) ピアノ

京都市立堀川高校音楽科(現 京都市立音楽高校)を経て、京都市立芸術大学音楽学部ピアノ専修卒業。関西モーツァルト協会例会「五人展」、サロンコンサート等に出演。ザルツブルグ・モーツァルテウム音楽院夏期国際アカデミーにてセルジオ・ペルティカローリ教授の講座を終了。終了演奏会に出演。

ピアノを山田淳子、故岩淵洋子、マックス・エッガーの各氏に、チェンバロを春山操氏に師事。1988年より京都混声合唱団伴奏ピアニスト。

## ヴェスペレ ソリスト



### 蔵田 みどり(くらた みどり) ソプラノ

京都市立芸術大学音楽学部卒業。

木川田温子氏に師事。

2000年 第54回全日本学生音楽コンクール大阪大会第3位。

2001年 榊田喜三記念奨学金受賞。

// 第108回京都市立芸術大学音楽学部定期演奏会ソリスト。

// 京都芸術祭奨励賞受賞。

2002年 京都市立芸術大学音楽学部賞受賞。

// 関西音大協新人演奏会出演。

現在、財団法人ロームミュージックファンデーション奨学援助を得てチューリッヒ音楽大学オペラ科在学中。

声楽をKathrin Grafに師事。



### 加藤 苑絵(かとう そのえ) アルト

京都市立堀川高等学校音楽科(現 京都市立音楽高等学校)卒業。

京都市立芸術大学音楽学部卒業、同大学院修了。

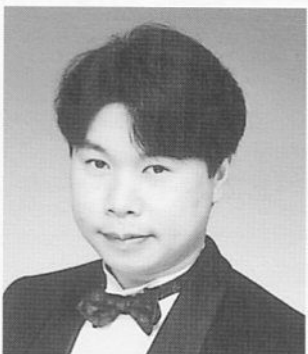
ドイツ・マタイザー夏期講習、スイス・ルツェルン音楽院マスタークラスに参加。

これまでに種々の演奏会に出演、宗教曲のアルトソロも多く務める。

藤花優子、三井ツヤ子の各氏に師事。

現在、ロータリー財団国際親善奨学金を得て、スイスのチューリヒ・ウィンターツアー音楽大学リートオラトリオ科在学中。

声楽をLina Maria Akerlund、リートクラスではDaniel Fueter、Hans Adolfsenの各氏に師事。



### 竹内 直紀(たけうち なおき) テノール

1996年 京都市立芸術大学音楽学部 管打楽専修卒業。

卒業後声楽に転向、第4回万里の長城杯国際音楽コンクール第1位。

オペラでは「フィガロの結婚」のバジリオでデビュー後、「魔笛」モノスタス、「ボエム」ロドルフォ、

「椿姫」アルフレード、ガストン、「こうもり」アイゼンシュタイン、「トスカ」スポレッタ、「カルメン」レ

メンダード、「リータ」ベッペ、「ドン・パスクワレ」エルネスト、「メリー・ウイドウ」カミーユ、「ジェンニ

スキッキ」ゲラルド、「アマールと3人の王様」カスパール王、その他数多くのオペラに出演。

また、宗教曲でもベートーヴェン「第九」、モーツァルト「レクイエム」、ハイドン「メサイア」等のソリス

トも務める。

現在 神戸市混声合唱団団員、上方オペラ工房メンバー、京都市立芸術大学大学院在学中。



### 石原 祐介(いしはら ゆうすけ) バス

京都産業大学を経て、京都市立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。

同大学院音楽研究科声楽専攻修了。音楽学部賞受賞。卒業演奏会に出演。

2002年 第21回飯塚新人音楽コンクール声楽部門第2位入賞。

ベートーヴェン「第九交響曲」、フォーレ「レクイエム」のバリトンソロの他、バッハなどの宗教曲のソ

リストを務める。オペラでは團伊玖磨作曲「夕鶴」の運ず、原嘉壽子作曲「祝い歌が流れる夜に」の金

沢公一郎で出演。第22回広島市新人演奏会優秀演奏者として「広島プロミシングコンサート2001」

に出演し、渡邊一正指揮 広島交響楽団と共演。

1997年～99年 世界合唱連合(IFCM)主催「世界青少年合唱団(World Youth Choir)」日本

代表メンバー。

現在、びわ湖ホール声楽アンサンブル登録メンバー。京都バッハ合唱団団員。アンサンブル「風」指

揮者。倫の会指導者。コーラスグループ「うたうた」ヴォイストレーナー。

これまでに、灘井 誠、山口はやとの各氏に師事。



**竹林 美子** (たけばやし よしこ) メゾソプラノ

華頂女子高校音楽科を経て、京都市立芸術大学音楽学部声楽科にて、蔵田裕行、佐々木成子、浦山弘三、ライナー・ホフマン各氏に師事。  
2001年、2003年 ラジオFM845にてパーソナリティーを務め、京都の合唱団を多数紹介。  
2003年 第6回「長江杯国際コンクール」において入賞。  
現在、女声合唱団「コールハイム」、「コールラルゴ」及びPTAコーラス 指揮者。  
「京都混声合唱団」ヴォイストレーナー。



**大谷 圭介** (おおたに けいすけ) バリトン

京都教育大学教育学部数学科卒業。京都市立芸術大学大学院音楽研究科声楽専攻修了。  
費場知昭、蔵田裕行、G.Tadeoの各氏に師事。  
第39回なにわ芸術祭新進音楽家競演会声楽の部において新人賞、ならびに大阪府知事賞受賞。第7回高槻音楽コンクールにおいて第1位、ならびに高槻市長賞受賞。  
オペラでは「フィガロの結婚」伯爵、フィガロ、「魔笛」パパゲーノ、「コン・ファン・トゥッテ」グリエルモ、「椿姫」ジェルモン、「アルバート・ヘリング」ゲッツ牧師、林光作曲「白墨の輪」アツダク、「カルメン」モラレス、ダンカイロ、「ジャンニ・スキッキ」マルコ等出演。  
演奏会では、フォーレ「レクイエム」、ベートーヴェン「第九」、バッハ「クリスマス・オラトリオ」のいずれもバリトン・ソロ、京都オペラ協会オペラ・ガラ・コンサートに出演する。  
現在、関西二期会準会員、男声合唱団Des Eleisons指揮者、島本混声合唱団指揮者、京教で京響と第九を歌おう会トレーナー、京都混声合唱団ヴォイス・トレーナー。



**三森 尚子** (みつもり なおこ) オルガン

京都市立芸術大学音楽学部ピアノ専修卒業。1983年、洗足学園大学音楽学部 M・エッガー教授によるピアニスマスタークラス修了。ピアノを山田淳子、下村和子、マックス・エッガーの各氏に師事。  
同志社女子大学学芸学部音楽科嘱託講師、兵庫県立西宮高校音楽科非常勤講師として勤務する傍ら、ピアニストとしてリサイタル、お話しサロン・リサイタル、協奏曲、室内楽、伴奏等に広く活躍している。  
その一方で、神戸松蔭女子大学に於ける教会音楽コース(3年間)に在籍、パイプオルガンを鈴木雅明氏に師事。  
1994年3月、同コース修了と同時に、4月～9月、同大学チャペルオルガニスト不在期間の代理を務める。その後、U.ベーム氏(ライプツィヒトーマス教会オルガニスト)の指導を受けたり、国際オルガン講習会に参加して研鑽を積み、同大学チャペルにてリサイタルシリーズ「J.S.バッハと彼をめぐる人々」、エウフォニカ管弦楽団とオルガン協奏曲、モーツァルト室内管弦楽団の通奏低音奏者の他、香港カルチャーセンターコンサートホール主催の演奏会に招かれたり、イギリス・アーディングライ・カレッジ・チャペル、ロンドンの教会にてリサイタルを依頼される等、オルガニストとしても国内外で活動している。  
日本キリスト教団高槻日吉台教会音楽主任兼オルガニスト。日本オルガン研究会会員。

高田三郎：混声合唱曲集より「啄木短歌集」

1956年、石川啄木生誕70年の記念の集いが催され、そのための依頼を受けて作曲されたもので、短歌集「一握の砂」から六首、「悲しき玩具」から二首が作曲者によって選ばれた。以下は、作曲者自身による各曲についての言葉である（高田三郎著『来し方 ― 回想の記 ―』より）。

第1曲「やわからかに」

23歳の啄木は、勤務校の校長に対する不満からストライキを起こして免職になり、渋民村を追放され、北海道、東京などを転々とし、再び故郷に戻ることなく28歳で亡くなるのである。だからこの歌は痛切な望郷の思いなのであり、眼をつぶって歌う遥かな北上川なのである。歌集ではこの短歌のひとつ前に「石をもて追わるるごとくふるさとを、出でしかなしみ消ゆる時なし」が置かれてある。

第2曲「頬につとう」

溢れ出る涙をぬぐおうともせず、手に握った砂を眼の前に出し示した農村の若き日の友の忘れることのできない想い出であり、一生を土と共に農村に生きる決意の友と、東京へ行く啄木との別れでもあろうか。

第3曲「いのちなき」

いのちなき砂のかなしさ。指の間からそれはさらさらとこともなげに落ちていってしまう。

第4曲「病のごと」

まるで病の如くにはげしく故郷のことが思われる日。青空の煙はその想いを一層深くする。

第5曲「不<sup>こずかた</sup>来方の」

遥かな遥かな不<sup>こずかた</sup>来方城趾の草の上での15歳の想いは、もう二度と戻ってくることはない。楽譜の *sempre pp* は、その時間的空間的遙けさを、歌う人きく人の心に印すためである。

第6曲「ふるさとを」

そして遂に病を得、ふるさとの閑古鳥を夢にきくのである。歌集ではこのあとに「閑古鳥！ 渋民村の山荘を、めぐる林のあかつきなつかし」が続く。

第7曲「はずれまで」

ピアノの前奏4小節は、長い廊下を眼に浮かばせるであろうか。「一度ゆきたし」は、その時の詩人の思いを込めて。

第8曲「あめつちに」

みずからの悲しみと月光とが満ちわたる夜を、大きな大きな空のように歌ってほしいものと願っている。

W. A. モーツァルト：ヴェスプレ（証聖者のための盛儀晩禱）KV339

モーツァルトの全作品のおよそ1割を占める宗教作品は、当時はまだローマ教会領であった故郷ザルツブルクで、領主であった大司教に仕えた16歳からの9年間に、そのほとんどが作曲された。そして、このザルツブルク時代最後の作品がこの晩禱である。25歳でウィーンに定住してから亡くなるまでの10年間に作曲された宗教作品は僅かに3曲であった。

晩禱とは、ローマ・カトリック教会の公的な日課として司教、司祭、助祭、修道者が行う聖務日課と呼ばれる8回の祈りのうちの、本来日没（午後6時）に行われる、一日の恵みへの感謝の祈りである。晩禱を含む聖務日課の祈りに使用される言葉の中心は、旧約時代に約千年にわたって詠まれた、神への賛美、感謝、嘆願、回心、信頼をうたった宗教詩である詩篇であり、またこの作品の終曲で歌われる、聖母マリアによる神への賛歌（マニフィカト）なども欠かせない。

第1曲「主は言われた」（詩篇110）

旧約聖書の神ヤハウェが王を助けて諸国を裁き、王を勝利に導くことを語る。

第2曲「わたしは、心を尽くして主に感謝する」（詩篇111）

イスラエルの民への主の救いの業への賛美。

第3曲「主を畏れる正しい人は、幸い」（詩篇112）

主の業を称え、主を畏れる者こそが、真の義人であると祝福する内容。

第4曲「主のしもべらよ、主を賛美せよ」（詩篇113）

全世界に栄光が及ぶ主でありながら、己を低くして苦しむ者に手を差しのべられる主の慈愛への賛歌。

# 解 説

## 第5曲「すべての国よ、主を賛美せよ」(詩篇117)

恵みと真実の神への賛美を全世界に促す高らかな賛歌。

## 第6曲「わが魂は主を崇め」(ルカによる福音書1:46~55)

神の子キリストを胎内に宿した聖母マリアが、神の全能を賛美して述べた言葉。

## M. デュリュフレ:レクイエム Opus 9

20世紀中葉に活躍したフランスのオルガン奏者であり作曲家であったデュリュフレの作品の中で、とりわけその美しさと知られるこの作品は、しばしば約半世紀前のG. フォーレの「レクイエム」をモデルとしたものとして、その楽曲構成の類似性などが指摘される。即ち、両者共に「レクイエム」の通常の歌詞として用いられる、世の終わりの激しい描写で始まる「怒りの日」を省略し、代わりに死者の罪の赦しを願う赦祷式の祈り「我を救し給え」と、墓地に向かう柩に寄り添ってなされる祈り「天使は汝を天国に」とを取り入れているのである。しかし両者のこの共通性にも拘らず、デュリュフレが見せる大きな独自性と言えるのは、10歳の頃から教会の聖歌隊員としてカトリック音楽に親しんだと言われる彼の、グレゴリオ聖歌に対する強い畏敬の念であろうか。フォーレが直接には使用しなかったグレゴリオ聖歌を、デュリュフレは「父の霊に」と記されたこの作品の全9曲のうちの実に8曲において、ほぼ原型に近い姿で、或いは僅かな変形を施して用いているのである。カトリックの信仰を生きた本日の冒頭作品の作曲家高田三郎氏によって、「正真正銘の祈り」「ひたすらなる祈り」(上掲書より)と表現されるグレゴリオ聖歌。この祈りに支えられるデュリュフレの音楽の力に、我々は今日、地上の平和とすべての死者の魂の平安への祈りを託したいと思う。下記の楽譜は、各曲に使用されているグレゴリオ聖歌のうち、特に原型に近い形で聞こえてくる旋律の冒頭部分である。

### I. 入祭唱「主よ、永遠の安息を彼らに与え、絶えざる光を彼らの上に照らし給え」



*Ré- qui- em \* æ- tér- nam do- na e- is, Dó-mi- ne:*  
 レ イ エム ▲ エ テル ナム ド ナ エ イス ド ミ ネ  
 安 息 を 永 遠 の (安 息 を) 与 え た ま え か れ ら に 主

### II. あわれみの賛歌「主よ憐み給え、キリスト憐み給え」



○ *Ky- ri- e, \* e- lé- i- son.* ▲  
 ▲ キ リ エ エ レ イ ソン ○  
 ○ (3回) 主 よ あ わ れ み た ま え ▲

### III. 奉納誦「栄光の王なる主イエズス・キリストよ」


### IV. 感謝の賛歌「聖なるかな、万軍の天主なる主」



*Sanc-tus, \* Sanc-tus, Sanc-tus Dó-mi- nus De- us Sá- ba- oth.*  
 サンクトゥス ▲ サンクトゥス サンクトゥス ド ミ ヌス デ ウス サ バ オ ○  
 聖なるかな 聖なるかな 聖なるかな 主にまします 万軍の天主

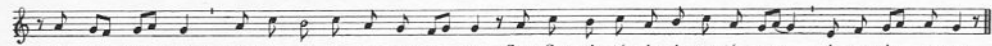
### V. 正規の典礼には無い挿入歌「慈愛深き主イエズスよ」

### VI. 平和の賛歌「世の罪を除き給う神の小羊、我らを憐み給え、我らに平和を与え給え」



*A- gnus De- i, \* qui tol- lis pec- cá- ta mun- di, do- na e- is ré- qui- em.*  
 アグヌス デ イ ▲ クイ トリス ペカタ ムンディ ドナ エ イス レイ エム  
 (2回) 天主の小羊 世の罪を除きたもうおん者よ 与えたまえかれらに安息を。

### VII. 聖体拝領誦「主よ、永遠の光を彼らに照らし給え」




*Lux ae- tér- na \* lú- ce- at é- is, Dó-mi- ne: Cum Sanc- tis tú- is in æ- tér- num, qui- a pi- us es.*  
 ルクス エ テル ナ ▲ ルセア エ イス ド ミ ネ クム サンクティス イス イニテルヌム クイアピウス エス  
 永 遠 の 光 を 照 り た ま え か れ ら に 主 よ 主 の 聖 者 と 共 に 永 遠 に、 主 は 慈 悲 深 け ば

### VIII. 赦祷式の祈り「主よ、永遠の死より我を救い給え」

### IX. 墓地へ向かう柩への祈り「天使は汝を天国に導かん」

(赦祷式が終わって出棺する時に歌う)



*In pa- ra- dí- sum \* de- dú- cant te An- ge- li, in tu- o ad- vén- tu sus- ci- pi- ant te már- ty- res*  
 インパラディスム ▲ デデュカントテ アンジェリ イントゥオアドヴェン투스 シンピアントテ マルティレス  
 楽園に 伴いたまえんじを 天使は。 なんじの 来たるを 迎えて 殉教者らは

牧 マリ子(団員)



## 啄木短歌集 歌詞

やわらかに柳あおめる  
北上の岸辺目に見ゆ  
泣けとごとくに

頬につとう  
なみだのごわず  
一握の砂を示しし人を忘れず

いのちなき砂のかなしさよ  
さらさらと  
握れば指のあいだより落つ

病のごと  
思郷しきやうのこころ湧く日なり  
目にあおぞらの煙かなしも

こずかた  
不來方のお城の草に寝ころびて  
空に吸われし  
十五の心

ふるさとを出でて五年  
病をえて  
かの閑古鳥を夢にきけるかな

はずれまで一度ゆきたしと  
思いいし  
かの病院の長廊下かな

あめつちに  
わが悲しみと月光と  
あまねき秋の夜となれりけり

## ヴェスペレ 歌詞

### I 主は言われた (詩篇 110)

主はわが主に言われる。  
私があなただのもろもろの敵を、あなたの足台にするまで、私の右に坐せよ、と。  
主はあなたの力ある杖をシオンから出される。あなたはもろもろの敵の中で治めよ。  
あなたの力ある日に、聖人の輝きのうちに主権はあなたと共にあるだろう。  
朝の光の前に、私はあなたを生むだろう。  
主は誓いをたててみ心を変えられることはない。「あなたはメルキゼデクの位にしたがってとこしえに祭司である」  
主はあなたの右におられて、その怒りの日に主たちを打ち破られる。  
主はもろもろの国を裁き、すべてを亡ぼしすべてこの世の首をはねられる。  
彼は道のほとりの川から汲んでのみ、それによってその首をあげるであろう。  
父と子と聖霊はほむらるべきかな、はじめと同じく今も、そしてとこしえに。  
アーメン。

### II わたしは、心を尽くして主に感謝する (詩篇 111)

私は正しい者のつどい、および公会で、心をつくして神をほめまつる。  
主のみわざは偉大である。すべてそのみわざを喜ぶ者によって尋ね究められる。  
そのみわざは栄光と威厳とに満ち、その義はとこしえに失せることが少ない。  
主はそのくすしきみわざを記念させられた。  
主は恵み深く、あわれみに満ちていられる。  
主はおのれを恐れる者に食べ物を与え、その契約を心にとめられる。  
主はもろもろの国民の所領をその民に与えて、みわざの力をこれにあらわされた。  
そのみ手のわざは真実かつ公正である。  
すべてのさとしは確かである。これらは世々かぎりなく堅く立ち、真実と正直とをもってなされた。  
主はその民にあがないをほどこし、その契約をとこしえに立てられた。  
そのみ名は聖にして、おそれ多い。主を恐れることは智恵のはじめである。  
これを行うなう者はみな良き悟りを得る。  
主の誉れはとこしえに失せることはない。

## ヴェスペレ 歌詞

父と子と聖霊はほむらるべきかな、はじめと同じく今も、そしてとこしえに。  
アーメン。

### III 主を畏れる正しい人は、幸い

(詩篇 112)

主をおそれて、そのもろもろのいましめを大いに喜ぶ人はさいわいである。

その子孫は地において強くなり、正しい者のやからは祝福を得る。

繁栄と富とはその家にあり、その義はとこしえに失せることはない。

光は正しい者のために暗黒の中にも現れる。

主は恵み深くあわれみに満ち、正しくいらせられる。

恵みをほどこし、貸すことをなし、事を正しく行う人はさいわいである。

その人は決して動かされることがない。

義はとこしえに覚えられて、悪いおとずれを恐れない。

その心は主に信頼してゆるがず、その心は仇に打ち勝つまで落ちていて恐れることがない。

彼は惜しげなく施し、貧しい者に与えた。その義はとこしえに失せることはない。

その角は誉れを得てあげられる。

悪しき者はこれを見て怒り、歯をかみならして溶け去る。悪しき者の願いはほろびる。

父と子と聖霊はほむらるべきかな、はじめと同じく今も、そしてとこしえに。

アーメン。

### IV 主のしもべらよ、主を賛美せよ

(詩篇 113)

ほめたたえよ、主のしもべたちよ、主のみ名をほめたたえよ。

主のみ名に祝福あれ、今よりとこしえに至るまで。日のいずるところから日の入るところまで、主のみ名はほめたたえられる。

主はもろもろの国民の上に高くいらせられ、その栄光は天より高い。

高きところに坐し、遠く天と地とを見下されるわれらの神に比ぶべき者はだれか。

主は貧しき者を塵から上げ、とぼしい者をあくたから拾われる。

そしてもろもろの君たち、その民の君たちと共にすわらせる。

また子を生まぬ女に家庭を与え、多くの子供た

ちの喜ばしい母とされる。

父と子と聖霊はほむらるべきかな、はじめと同じく今も、そしてとこしえに。

アーメン。

### V すべての国よ、主を賛美せよ

(詩篇 117)

もろもろの国民よ、主をほめたたえよ、もろもろの人々よ、主をほめたたえよ。

われらに賜るそのいつくしみは大きいからである。

主のまことはとこしえに絶えることがない。

父と子と聖霊はほむらるべきかな、はじめと同じく今も、そしてとこしえに。

アーメン。

### VI わが魂は主を崇め

(ルカによる福音書 1:46~55)

私の魂は主を崇め、私の霊は救いの神に歓喜しました。卑しい端女を心に掛けてくださったからです。

そのため、今後すべての人が私のことを幸せな女と言うでしょう。

力ある方が私に大きなことをされたからです。

その御名は神聖です。

そして主を畏れる者には子々孫々に至るまでその憐れみが示されるでしょう。

主は御腕で力を振るい、心の思いの驕り高ぶる者を追い散らし、権力を持つ者をその座から引き下ろし、卑しい者を引き上げ、飢えている者に良いものを充分与え、富んでいる者を手ぶらで帰されました。

主は憐れみをお忘れにならず、僕であるイスラエルのことをお引受けになりました。

それは、主が私たちの父祖に、アブラハムとその子孫のことで永遠に約されたとおりで。

父と子と聖霊に栄光が有りますように。

初めに有ったとおりで、今も、いつでも、世々に至るまでも。

アーメン[そうでありますように]

## レクイエム 歌詞

### I 入祭唱

主よ、永遠の安息を彼らに与え、絶えざる光を彼らの上に照らし給え。  
主はシオンにて神を賛美するにふさわし、主はエルサレムにて誓約を果たさん。  
私の祈りを聞き入れ給え。  
全ての肉は主のもとに至らん。

### II キリエ

主よ、憐れみ給え。  
キリストよ、憐れみ給え。  
主よ、憐れみ給え。

### III 奉納唱

主イエスキリスト、栄光の王、全ての死せる信者の魂を地獄の刑罰と、裂けた深淵から救い給え。  
彼らをライオンの口から救い、彼らが地獄に呑み込まれ暗闇に陥るを許し給わざれ。  
斯くして旗手たる聖ミカエルが聖なる光に彼らを導き、  
かつてアブラハムが約束されたものを、その子孫にも果たし給え。  
賛美の生け贄と祈りを主に奉げ奉る。  
彼らの靈魂を受け入れ給え。  
今日我らのその記念を果たし、彼らを死より命へ過ぎ越さしめ給え。

### IV 感謝の賛歌

聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな万軍の天主なる主、  
主の栄光は天と地に満てり。  
いと高きところにホザンナ。  
主の御名によりて来るものは祝され給え。  
いと高きところにホザンナ。

### V 慈悲深き主よ

慈悲深き主イエスよ、我らに安息を与え給え。  
永遠の安息を与え給え。

### VI 神の子羊

世の罪を除き給う神の子羊、我らを憐れみ給え。  
世の罪を除き給う神の子羊、我らに平安を与え給え。

### VII 永遠の光

主よ、永遠の光を彼らに照らし給え。  
永遠に主の聖人と共にあらせ給え。  
主は慈悲深くあれば。

### VIII 怒りの日

主よ、永遠の死より我らを救い給え。  
かの恐ろしき日に、天と地が震え動きしその日、  
火をもて世を裁くために来たりし時、我は恐れおののく。  
来るべき怒りの日、ふるい分けられし時、天と地が震え動きしその日、  
かの日こそ怒りの日、災いと苦難の日、大いなる嘆きの日。

### IX 天国に

み使いは汝を天国に導かん。  
殉教者達は汝を迎えんと近づき、聖地エルサレムへ汝を導かん。  
天使の歌声に支えられ、貧しきラザロと共に  
永遠の安息を得ん。

# ◆京都混声合唱団主要演奏記録

1975(昭50)～2002(平14)

管弦楽・京都市交響楽団

年月日	演奏会	曲 目	指揮者	独 唱 者	会 場
1975(昭50) 10・10	50周年記念演奏会	青山政雄 〈祝典歌〉 モーツァルト 〈レクイエム〉 青木 望 編曲〈ロシア民謡〉	青山政雄	田中千恵子、森池日佐子 山本 領二、田原祥一郎 木川田 誠	京都会館第1ホール
1976(昭51) 10・20	定期演奏会	フォーレ 〈レクイエム〉 プーランク 〈モテット〉 團 伊玖磨 〈海上の道〉 青木 望 編曲〈シャンソン〉	青山政雄	田中千恵子、山本 領二 阪田誠康(p)	京都会館第1ホール
1978(昭53) 5・7	定期演奏会	バ ッ ハ 〈マタイ受難曲〉	青山政雄	常森 寿子、鈴木 寛一 辻 有子、田島 好一 山本 領二	京都会館第1ホール
1980(昭55) 5・28	定期演奏会	青山政雄〈鑑真和上東征賦〉 デュルフレ 〈レクイエム〉 青木 望 編曲〈ラテン〉	青山政雄	志村 年子、久岡 昇 山本 領二	京都会館第1ホール
1981(昭56) 11・9	定期演奏会	ハイドン 〈オラトリオ 四季〉	青山政雄	常森 寿子、鈴木 寛一 岡村 喬生	京都会館第1ホール
1982(昭57) 11・10	定期演奏会	モーツァルト 〈レクイエム〉 團 伊玖磨 〈筑後川〉 ブラームス 〈運命の歌〉	フルヴィオ・ ヴェルニツィ	田中千恵子、森池日佐子 佐藤 時彦、蔵田 裕行	京都会館第1ホール
1984(昭59) 6・30	定期演奏会	ベートーヴェン 〈荘厳ミサ曲〉	青山政雄	秋山恵美子、伊原 直子 鈴木 寛一、岡村 喬生	京都会館第1ホール
1985(昭60) 11・7	60周年記念演奏会	メンデルスゾーン 〈オラトリオ エリア〉	小泉和裕	常森 寿子、西 明美 鈴木 寛一、岡村 喬生	京都会館第1ホール
1988(昭63) 4・25	定期演奏会	バ ッ ハ 〈マタイ受難曲〉	青山政雄	伊藤 叔、伊原 直子 鈴木 寛一、木村 俊光 牧川 修一、淵脇 和範	京都会館第1ホール
1989(平元) 10・29	定期演奏会	グ ノ ー 〈聖チェチリアのための荘厳ミサ曲〉他 〔モーツァルト室内管弦楽団〕	青山政雄	三井ツヤ子、手島 孝教 蔵田 裕行	八幡市文化センター大ホール
1992(平4) 7・2	定期演奏会	ハイドン 〈オラトリオ 天地創造〉	蔵田裕行	常森 寿子、北村 敏則 木川田 澄、日紫喜恵美 宇野 徹哉	京都会館第1ホール
1994(平6) 5・11	定期演奏会	ドヴォルザーク 〈レクイエム〉	蔵田裕行	安保 淑子、三井ツヤ子 若本 明志、宇野 徹哉	京都会館第1ホール
1996(平8) 4・29	70周年記念演奏会	ハイドン 〈オラトリオ 四季〉	蔵田裕行	白川 深雪、北村 敏則 宇野 徹哉	京都コンサートホール
1997(平9) 7・25 27	第2回 日本スイス友好コンサート (賛助出演)	ヴェルディ 〈レクイエム〉	阪 哲朗	Judith Graf、Marion Amman 佐野 成宏、灘井 誠	ザ・シンフォニーホール 京都コンサートホール
1998(平10) 5・15	定期演奏会	ロッシェニ 〈小ミサソレムニス〉	蔵田裕行	安保 淑子、三井ツヤ子 木川田 澄、小餅谷哲男	京都コンサートホール
2000(平12) 9・12	75周年記念演奏会	ヘンデル 〈オラトリオ メサイア〉	蔵田裕行	日紫喜恵美、福原寿美枝 北村 敏則、灘井 誠	京都コンサートホール
2002(平14) 8・31	特別演奏会 (祝!京都市立芸術大学 音楽学部 創立50周年)	ベートーヴェン 〈荘厳ミサ曲〉	阪 哲朗	菅 英三子、福原寿美枝 北村 敏則、宇野 徹哉 合唱 コール真声会 京都市立芸術大学 音楽学部在学有志	京都コンサートホール

## 合唱出演者名簿

氏名	学年	氏名	学年	氏名	学年
山本 隆平	1	山本 隆平	1	山本 隆平	1
山本 隆平	2	山本 隆平	2	山本 隆平	2
山本 隆平	3	山本 隆平	3	山本 隆平	3
山本 隆平	4	山本 隆平	4	山本 隆平	4
山本 隆平	5	山本 隆平	5	山本 隆平	5
山本 隆平	6	山本 隆平	6	山本 隆平	6
山本 隆平	7	山本 隆平	7	山本 隆平	7
山本 隆平	8	山本 隆平	8	山本 隆平	8
山本 隆平	9	山本 隆平	9	山本 隆平	9
山本 隆平	10	山本 隆平	10	山本 隆平	10
山本 隆平	11	山本 隆平	11	山本 隆平	11
山本 隆平	12	山本 隆平	12	山本 隆平	12
山本 隆平	13	山本 隆平	13	山本 隆平	13
山本 隆平	14	山本 隆平	14	山本 隆平	14
山本 隆平	15	山本 隆平	15	山本 隆平	15
山本 隆平	16	山本 隆平	16	山本 隆平	16
山本 隆平	17	山本 隆平	17	山本 隆平	17
山本 隆平	18	山本 隆平	18	山本 隆平	18
山本 隆平	19	山本 隆平	19	山本 隆平	19
山本 隆平	20	山本 隆平	20	山本 隆平	20
山本 隆平	21	山本 隆平	21	山本 隆平	21
山本 隆平	22	山本 隆平	22	山本 隆平	22
山本 隆平	23	山本 隆平	23	山本 隆平	23
山本 隆平	24	山本 隆平	24	山本 隆平	24
山本 隆平	25	山本 隆平	25	山本 隆平	25
山本 隆平	26	山本 隆平	26	山本 隆平	26
山本 隆平	27	山本 隆平	27	山本 隆平	27
山本 隆平	28	山本 隆平	28	山本 隆平	28
山本 隆平	29	山本 隆平	29	山本 隆平	29
山本 隆平	30	山本 隆平	30	山本 隆平	30
山本 隆平	31	山本 隆平	31	山本 隆平	31
山本 隆平	32	山本 隆平	32	山本 隆平	32
山本 隆平	33	山本 隆平	33	山本 隆平	33
山本 隆平	34	山本 隆平	34	山本 隆平	34
山本 隆平	35	山本 隆平	35	山本 隆平	35
山本 隆平	36	山本 隆平	36	山本 隆平	36
山本 隆平	37	山本 隆平	37	山本 隆平	37
山本 隆平	38	山本 隆平	38	山本 隆平	38
山本 隆平	39	山本 隆平	39	山本 隆平	39
山本 隆平	40	山本 隆平	40	山本 隆平	40
山本 隆平	41	山本 隆平	41	山本 隆平	41
山本 隆平	42	山本 隆平	42	山本 隆平	42
山本 隆平	43	山本 隆平	43	山本 隆平	43
山本 隆平	44	山本 隆平	44	山本 隆平	44
山本 隆平	45	山本 隆平	45	山本 隆平	45
山本 隆平	46	山本 隆平	46	山本 隆平	46
山本 隆平	47	山本 隆平	47	山本 隆平	47
山本 隆平	48	山本 隆平	48	山本 隆平	48
山本 隆平	49	山本 隆平	49	山本 隆平	49
山本 隆平	50	山本 隆平	50	山本 隆平	50
山本 隆平	51	山本 隆平	51	山本 隆平	51
山本 隆平	52	山本 隆平	52	山本 隆平	52
山本 隆平	53	山本 隆平	53	山本 隆平	53
山本 隆平	54	山本 隆平	54	山本 隆平	54
山本 隆平	55	山本 隆平	55	山本 隆平	55
山本 隆平	56	山本 隆平	56	山本 隆平	56
山本 隆平	57	山本 隆平	57	山本 隆平	57
山本 隆平	58	山本 隆平	58	山本 隆平	58
山本 隆平	59	山本 隆平	59	山本 隆平	59
山本 隆平	60	山本 隆平	60	山本 隆平	60
山本 隆平	61	山本 隆平	61	山本 隆平	61
山本 隆平	62	山本 隆平	62	山本 隆平	62
山本 隆平	63	山本 隆平	63	山本 隆平	63
山本 隆平	64	山本 隆平	64	山本 隆平	64
山本 隆平	65	山本 隆平	65	山本 隆平	65
山本 隆平	66	山本 隆平	66	山本 隆平	66
山本 隆平	67	山本 隆平	67	山本 隆平	67
山本 隆平	68	山本 隆平	68	山本 隆平	68
山本 隆平	69	山本 隆平	69	山本 隆平	69
山本 隆平	70	山本 隆平	70	山本 隆平	70
山本 隆平	71	山本 隆平	71	山本 隆平	71
山本 隆平	72	山本 隆平	72	山本 隆平	72
山本 隆平	73	山本 隆平	73	山本 隆平	73
山本 隆平	74	山本 隆平	74	山本 隆平	74
山本 隆平	75	山本 隆平	75	山本 隆平	75
山本 隆平	76	山本 隆平	76	山本 隆平	76
山本 隆平	77	山本 隆平	77	山本 隆平	77
山本 隆平	78	山本 隆平	78	山本 隆平	78
山本 隆平	79	山本 隆平	79	山本 隆平	79
山本 隆平	80	山本 隆平	80	山本 隆平	80

### テナー急募 団員大募集中! 京都混声合唱団

80周年記念演奏会／2005年 バッハの「口短調ミサ」に決定!!

見学大歓迎です。初心者・経験者を問いません。勿論テナー以外の方もどうぞお越しください。  
2003年9月中旬より練習開始です。

練習日 定時:毎週金曜日 19時～21時15分(発声練習:18時30分から)  
特別練習:日曜日 昼間に随時実施します  
練習会場 京都府薬剤師会館 2階ホール(東大路通五条上る東側)  
常任指揮者 蔵田 裕行(京都市立芸術大学名誉教授)  
ピアニスト 宮北 昌子  
入団費:1,000円 月額団費:3,500円(学生 1,500円)

お問い合わせ先はこちら:

090-1226-1717(京都混声合唱団)／E-mail:kyokoncc@ak.sky.tkk.ne.jp

京混HP:<http://kyou-kon.jp/>



# 心ゆたかに夢のひとつき

ヨーロッパ磁器上絵付教室 ロザンジュ・ミヤザキ

2回でかわいい小花の小皿をお作りいただける  
体験コースもございます。

くわしくはお気軽にお問い合わせくださいませ。

**Losange**  
ロザンジュ・ミヤザキ

〒604-0805 京都市中京区夷川通堺町西入ル 宮崎家具2F  
TEL.075-231-6310  
FAX.075-231-6320



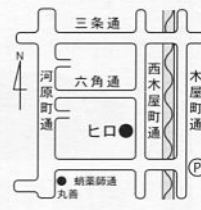
グリル  
**Yakey**  
彌兵衛

北野天満宮 上七軒 千本通 千本通

■京都市上京区北野上七軒 ■TEL/FAX (075) 467-3010  
定休日：月曜日・第3火曜日 営業時間：11：30～14：00  
オーダーストップ 17：30～21：30  
オーダーストップ

—お食事・パーティー&スナック—

ファミリールーム **ヒロ**



中京区西木屋町蛸薬師上ル  
第二観光ビルB1F  
TEL(075)255-2656

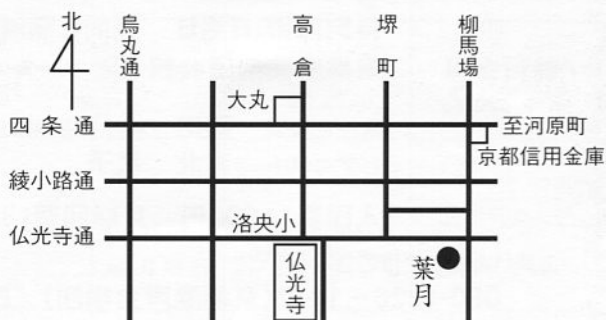
●営業時間  
午後5時～午前1時まで

珈琲  
京茶漬  
**葉**

HAZUKI

**月**

電話 (075) 341-6565  
営業時間 am10:30～夕迄  
定休日 土・日・祝



〒600-8074  
京都市下京区仏光寺通柳馬場西入

祝 京都混声合唱団 '03定期演奏会  
**団員募集 男声合唱団 Des Eleisons**

本年度の予定

12月6日(土) 第4回定期演奏会 京都文化博物館 別館ホールにて

指揮者: 大谷 圭介 (京都市立芸術大学大学院 声楽科 卒)

曲名: 水のいのち、多田武彦セレクション 他

練習日: ほぼ隔週土曜日 18:30~20:30 西陣カトリック教会にて

団費: 月額 4,000円 (学生 2,000円)

連絡先: 090-7880-3449 (谷生) まで



ビアホール

**Bier Keller - New Kyoto**

京都市下京区木屋町通四条上ル

TEL. 075  
-221  
-2514

<http://www.bierkeller-newkyoto.com/>



定休日 木曜日

レディースサービス (月・火・水曜日は女性の方ドリンク半額)

寿司・割烹



変り寿司処  
**ふなおか**

京・大徳寺西側今宮神社鳥居前

☎ (491) 8866

〈2時まで営業〉



旬菜 愉快「鶴亀堂」



中京区寺町押小路南西角  
 パインオーク METS B1  
 Phone&Fax 075-213-3983

**楽譜のお届けサービス**

ご注文後すぐに楽譜がお手元に届きます。

合唱譜なら——

**Pana musica co.,ltd.**

〒617-0826 京都府長岡京市開田3-2-3

☎ 075-952-8762 FAX 075-951-8762

E-mail: office@panamusica.co.jp ホームページ <http://www.panamusica.co.jp>

**藤田塾子ども囲碁教室**

毎週水曜日 18:00~20:30

第1・2土曜 10:30~21:00

第3土曜 10:30~17:00

第4土曜 14:00~21:00

<http://igo.itigo.jp/>

※常時見学可能

場所: 京都教育文化センター TEL 075-771-4224

京阪「丸太町」⑤番出口より東へ徒歩3分

お問い合わせは 090-9993-9402 (代表・北野龍彦) までどうぞ。

**無料体験実施中!**



うすくち

ほんのり

四季のいろ

城下町の面影を今も残す

うすくちのふるさと、播州龍野。

風の詩を子守歌に

ゆつくりと歳月に磨かれた

ヒガシマルのうすくちは

やさしい自然のおいしさ――

春夏秋冬それぞれの味わいを

色美しく引き立てます。



うすくち醤油発祥の地：兵庫県龍野市  
ヒガシマル醤油株式会社